

令和3年度

施政方針

(2月19日表明)

「魅力あふれ
ひとがつながる
文化都市国分寺」
を目指して

令和3年第1回定例会で、井澤邦夫市長が表明した「令和3年度施政方針」をお知らせします。

はじめに

令和3年第1回定例会の開会に当たり、私の市政運営に当たっての基本的な姿勢をお示するとともに、今後取り組むべき主要施策を申し上げ、議員各位をはじめ市民の皆様のご理解とご協力を賜りたいと存じます。

国内で初めて新型コロナウイルスによる感染者が確認されてから、既に1年以上が経過しました。この感染症により亡くなられた方々へ哀悼の意を表すとともに、罹患された方々へお見舞いを申し上げます。また、日々最前線でご尽力されている医療関係従事者の皆様、私たちの日常生活を支える仕事を担われている皆様に心より感謝申し上げます。

本市では、昨年1月の国内感染者発生後、直ちに初動体制を組んで情報収集に努め、2月初めには国分寺市新型コロナウイルス感染症対策本部を設置し、対応に当たってまいりました。同本部においては、まず、本市における新型コロナウイルス感染症対策の基本的な指針となる『新型コロナウイルス感染症に関する国分寺市の対応方針』を定め、時々刻々と変化する状況を捉えて対応を協議しながら、市民の生命と健康を全力で守るため、速やかに感染拡大防止策を講じてまいりました。あわせて、経済対策と生活支援に係る多くの取組も推進してまいりました。

PCR検査の体制を拡充する国分寺市医師会への緊急協力金の給付をはじめ、福祉事業所の職員や新規入所者にPCR検査を実施するとともに、感染発生時には保健所の行政検査の対象とならなかった方へもPCR検査費用を助成してまいりました。あわせて、PCR検査を受ける市民の安全確保と感染拡大防止に効果的な「PCR検査被検査者搬送事業」も実施してまいりました。

また、中小事業者の事業継続を支援するための方策として、「中小事業者家賃支援事業」と「小規模事業者経営持続支援事業」、事業運営に苦慮する介護保険サービス事業者・障害福祉サービス事業者を支援する「福祉事業所応援特別給付金給付事業」など、様々な施策を講じてまいりました。

昨年5月には、医療関係従事者の皆様への敬意と感謝を込めて、医療機関を支援する新型コロナウイルス感染症対策寄附金を創設したとこ

ろ、多くの方々より温かいご支援をいただいております。改めて深く感謝申し上げます。

本年1月には、昨年4月に続き2回目となる緊急事態宣言が発出されました。にわかには収束が見通せないコロナ禍にあって、今年度も引き続き感染症の拡大防止と経済活動の両立を図り、この難局を乗り切るために、全身全霊をかけ、全力で市民の生命と健康と生活を守り抜く取組を更に推進してまいります。特に、この感染症対策の重要な柱となる新型コロナウイルスワクチン接種につきましては、国分寺市医師会や関係機関と緊密に連携を取りながら、希望される市民全員ができる限り早期に、確実に接種を受けられるよう、万全の体制に向け準備を加速しております。新型コロナウイルス感染症の拡大という非常事態の克服を最優先・最重要課題に位置づけ、地域経済を立て直し、市民生活の安全・安心を取り戻すために、あらゆる事態にも臨機応変に対応できるよう、スピード感をもって必要な施策を展開してまいります。

新型コロナウイルス感染症は、私たちの日々の生活にも大きな変化をもたらしました。テレワークの普及やサテライトオフィス(*1)の活用によって働き方は変化し、非対面・非接触の「新たな日常」を踏まえた生活様式が定着しつつある中で、本市においても、行政手続のデジタル化やオンライン教育を推進するなど、効率的・効果的な行政サービスの提供と未来につながる持続可能な市政運営を実現してまいります。

さて、今年度から『国分寺市ビジョン後期実行計画』がスタートします。本計画に位置づけた各施策は、コロナ禍において展開していくことを前提としていますが、「アフターコロナ」も見据え、必要に応じて見直しを行い、社会環境の変化に柔軟に対応してまいります。また、本計画は、「誰一人取り残さない」というSDGs(*2)の基本理念の一つを根幹に掲げ、成長し、持続可能なまちづくりを目指しています。幅広い関係者や関係団体と協働・連携しながら、『国分寺市ビジョン』に掲げた「魅力あふれひとがつながる文化都市国分寺」という未来のまちの姿の実現に向けて、各施策を着実に推進してまいります。

全庁一丸となり、急速な社会環境の変化やコロナ禍で浮き彫りになった課題にも柔軟に対応しながら、市民が安全に安心して住み続けられるまちづくりを進展させ、行政サービスのより



施政方針を発表する井澤市長

一層の向上を目指し、誰一人取り残さない持続可能な市政運営を全力で押し進めてまいります。

市政運営に当たっての基本姿勢

○大切な人の生命と健康を守るために

新型コロナウイルスは、いまだ世界各地で猛威を振るっており、我が国でも収束の見通しは厳しいものとなっています。本市では、これまで経験したことのないこのような事態に対応するために、市民の生命と健康を守る対策に全力で取り組んでまいりました。今年度も新型コロナウイルス感染症対策を最優先に、医療機関との連携を強化し、検査体制への支援等を継続するほか、変化する情勢に的確に対応してまいります。特に、新型コロナウイルスワクチン接種につきましては、市民の生命と健康を守り、一日も早く安心した暮らしを取り戻すことができるように、希望される市民全員に確実に実施してまいります。

新型コロナウイルス感染症は、社会経済への影響だけでなく、差別や社会的孤立、メンタルウェルネスの喪失による生活不安などをもたらす原因にもなっています。このような状況を踏まえ、世界人権宣言でもうたわれている「すべての人間は、生まれながらにして自由であり、かつ、尊厳と権利とについて平等である」ことを

語句解説

(*1)サテライトオフィス

企業または団体の本拠から離れたところに設置されたオフィス

(*2)SDGs

Sustainable Development Goals(持続可能な開発目標)の略で、平成27年9月に国連サミットで採択され、令和12年を達成期限とする世界共通の目標。17のゴールと169のターゲットで構成され、地球上の「誰一人取り残さない」ことを誓っている

改めて市民に表明するため、すべての人を大切に、差別をなくすための宣言を行う予定です。

○地域経済の活力を取り戻すために

新型コロナウイルス感染症の克服とともに、市内の地域経済の活力を取り戻すことは、市として大変重要な責務です。コロナ禍の収束に向けて、飲食店を中心に、多くの事業者が国や東京都の営業時間短縮要請に応じるなどのご協力をいただいております。非常に厳しい経営を強いられていると認識しています。このような厳しい状況において、市内の飲食店が提供するメニューをデリバリー・テイクアウトする国分寺市商工会の新しいサービス「ぶんじDELi」を支援してまいりました。また、市民生活を支援し、小規模事業者の経営を応援するため、全市民に対し1人につき3,000円の商品券を支給する「国分寺市民・市内小規模事業者応援商品券事業」を実施してまいります。今後も厳しい状況が続くことが懸念されますが、引き続き皆様の声に耳を傾けながら、真に必要な対策を躊躇なく実行してまいります。

○災害にも強靱なまちづくりのために

本年は、阪神・淡路大震災から26年が経過し、東日本大震災から10年の節目となります。また、令和5年には、関東大震災から100年を迎えることとなります。本市では、首都直下地震や立川断層帯による地震への備えも怠ることができません。

近年、国内では台風や豪雨などによる甚大な被害が頻発しており、いかなる大規模自然災害が発生しても致命的な被害を負わない強さと、迅速に回復するしなやかさを併せ持つことが必要です。このことを踏まえ、『国分寺市国土強靱化地域計画』を策定し、平時から事前防災・減災に取り組むことにより、災害時においても強靱なまちづくりを進めてまいります。

また、災害により大量に出される廃棄物を適正かつ円滑に処理するために、『国分寺市災害廃棄物処理計画』を策定し、災害時における適切な廃棄物処理体制等を構築してまいります。

災害対策の拠点としての新庁舎の建設は、昨年度、公募型プロポーザル方式(*3)により、基本設計から施工まで一括して行う事業者を選定いたしました。今年度は、新庁舎建設用地である泉町所有地を取得するとともに、設計業務に着手し、令和6年度の竣工を目指し事業を本格化させてまいります。設計に当たっては、『国分寺市新庁舎建設基本計画』を基に、環境に配慮し、良質な市民サービスを提供する拠点、災害時には市民の安全・安心の礎となる拠点、今般の新型コロナウイルス感染症のような不測の事態への対応の拠点となるよう、皆様のご意見を伺いながら、鋭意検討を進めてまいります。



設計施工事業者が作成した新庁舎外観イメージ

○スマート自治体推進のために

国は、今般の新型コロナウイルス感染症の拡大を契機として浮き彫りになった行政デジタル化の課題を解決するとともに、非対面・非接触の「新たな日常」に対応するため、これまでにないスピードでデジタル社会の実現に向けた改革を推し進めています。

本市においても、この社会変革に適応していくため、昨年度、デジタル推進担当を配置しており、デジタル技術を積極的に活用して、より利便性が高い行政サービスの提供と業務の効率化を実現してまいります。

既に導入しているWeb会議システムやペーパーレス会議システム、AI・RPA(*4)の活用を一層促進し、更なる業務の効率化を図るとともに、今年度から市税の納付方法にスマートフォン決済アプリケーションを活用する電子マネーを導入し、市民の利便性を向上させてまいります。

また、オンラインによる申請手続の拡充、スマートフォンを通じた行政情報の提供、キャッシュレス決済機能を備えた施設予約システムの導入などに向けて検討を進めるとともに、今後の更なるデジタル技術の進展を見据えながら、市民一人ひとりのニーズに合った付加価値の高い行政サービスの提供と、人に優しいデジタル化を推進し、スマート自治体(*5)を目指してまいります。

あわせて、地域活性化包括連携協定を締結している事業者等との連携をはじめ、公民連携により事業者等が持つノウハウを活用し、より実効性の高い事業を展開することにより、更なる地域の活性化と課題解決を図ってまいります。

○持続可能な行財政運営のために

令和3年度予算は、コロナ禍という未曾有の事態にあつて、特別な取組が求められる編成と

なりました。特に、歳入の根幹をなす市税収入の大幅な減収が見込まれる大変厳しい状況においても、市民の生命や健康、生活を守るために必要な経費は確実に確保していくべく、ゼロベースからの見直しを厳格に徹底し、真に必要な経費の計上に取り組みました。

しかしながら、結果として財源不足を完全に解消するには至らず、それを補う方策として、地方債全体の残高等の状況を勘案し、市税等に減収が生じた場合の特例的な地方債である減収補てん債及び特別減収対策債3億9,620万円を活用することといたしました。また、財政調整基金から3億7,000万円を取り崩し、今年度の新型コロナウイルス感染症対策として、市民生活を支援し、小規模事業者の経営を応援する「国分寺市民・市内小規模事業者応援商品券事業」の財源として活用いたします。

一般会計の予算規模は、総額521億9,613万2千円、対前年度比で45億727万8千円、9.5%の増となり、当初予算としては過去最大規模となりました。これは、「新型コロナウイルスワクチン接種事業」、「国分寺市民・市内小規模事業者応援商品券事業」、「GIGAスクール構想(*6)環境整備事業」などの新型コロナウイルス感染症対策に関わる予算を令和2年度に引き続き計上したことや、新庁舎建設に関わる予算を計上したことによるものです。

特別会計では、下水道事業会計を除いた3会計の合計で228億8,818万6千円を計上しています。なお、国分寺駅北口再開発事業の特別会計につきましては、国分寺駅北口駅前広場の完成により、長年の歳月をかけて実施してきた事業が完了することから、令和2年度をもって廃止し、一般会計へ移行いたします。

一般会計予算の概要として、歳入では、市税収入が対前年度比9億4,000万円以上の減収を見込んでいます。これは、新型コロナウイルス

語句解説

(*3)プロポーザル方式

発想、課題解決方法、取組体制等の提案を審査し、最も適切な創造力、技術力、経験等を有する事業者を選定する方式

(*4)RPA

Robotic・Process・Automation(ロボティック・プロセス・オートメーション)の略で、業務の効率化を目的とした技術の一つ

(*5)スマート自治体

システムやAI(人工知能)等の技術を活用して、効果的・効率的に行政サービスを提供する自治体

(*6)GIGAスクール構想

市立小・中学校の全児童・生徒に1人1台のタブレット端末と高速大容量の通信ネットワークを一体的に整備し、個別最適化された学びを持続的に実現させる構想

感染症の影響により、個人市民税を中心に各税目で減収が見込まれることによるものです。歳出では、新型コロナウイルスワクチン接種事業をはじめとする新型コロナウイルス感染症対策のための各種事業費に加え、子どもから高齢者まで、障害のある人もない人も、国分寺で暮らすすべての人が自分らしく、いきいき健やかに生活するために必要な経費を計上しています。

昨年度は、新型コロナウイルス感染症の拡大に対応するため、様々な対策を講じるとともに、果敢に必要な事業を実施してまいりました。令和3年度も、引き続き感染症の克服を最優先課題とし、市民や医療関係従事者への支援、地域経済の復活などに必要な対策・事業については、迅速に躊躇なく実施していくとともに、財政規律を堅持し、将来を見据えた強固な財政基盤の確立に向け、バランスの取れた持続可能な財政運営を行ってまいります。

令和3年度の主要施策

続きまして、令和3年度の主要な施策につきまして、簡潔に述べさせていただきます。

○子どもを育み、ともに学ぶまち

子ども・若者支援につきましては、『国分寺市子ども若者・子育ていきいき計画』の基本理念である「一人ひとりを大切に みんながみんなの中で心豊かに 育ち合い、支え合う」を踏まえ、家庭や地域において、育つ喜びや子育ての喜びが実感でき、すべての子ども・若者たちが健やかに成長、自立していけるまちを目指して取り組んでまいります。また、未来を担う子どもたちが健やかに成長できる環境の整備や、保護者が安心して仕事を続けながら子育てできる支援を引き続き進めてまいります。

こくぶんじ青空ひろばにつきましては、今年度に市域の南エリアに1か所増やし、市内10公園まで拡充してまいります。市内の公園に親子が気軽に立ち寄ることができ、安心して遊び、交流できる場を提供することにより、更なる子育て支援サービスの充実を図ってまいります。

親子ひろば事業につきましては、保護者が地域で孤立したまま育児や育児・発達に関する不安を抱えることがないよう、より身近な育児相談の場を提供してまいります。あわせて、子ども家庭支援センターやこどもの発達センターつくしんぼにおいて、関係機関と連携しながら、子育てや子どもの発達に関する不安の解消、虐待の未然防止等、積極的な支援に引き続き取り組んでまいります。

妊娠期から子育て期まで切れ目のない子育て支援につきましては、子育て世代包括支援センターを中心に支援体制の充実に向けた取組を引き続き推進するとともに、誰もが安心して妊娠・出産や子育てができるように、出産後の母親の

心身のケアや育児相談等を行う通所型産後ケア事業を新たに実施してまいります。

保育所につきましては、『国分寺市子ども若者・子育ていきいき計画』に基づき、昨年度に民設民営保育所を4施設整備し、本年4月に288人の定員拡充を行います。今年度も引き続き行う民設民営保育所の整備により、待機児童ゼロを達成する見込みです。

また、市立こくぶんじ保育園のトイレのバリアフリー化を行い、これまで以上に良好な保育環境を提供するとともに、新たに都立小児総合医療センターにおいて、府中市、国立市との広域利用による病児・病後児保育を開始し、拡充してまいります。

幼児教育・保育の無償化の対象とならない施設等の利用者の負担軽減につきましては、今後も国の動向を見ながら、昨年度創設した「幼児養育費補助金」の内容の拡大を検討してまいります。

学童保育所につきましては、昨年度に民設民営学童保育所を2施設整備し、本年4月に78人の定員拡充を行います。あわせて、第二小学校と第五小学校の敷地内に公設民営学童保育所の整備を行い、130人の定員拡充を行います。今後も民設民営学童保育所の整備により定員の拡充を進め、学童保育所の狭あい状況の解消に努めるとともに、高学年児童の受入れについて、その後の状況等を踏まえ研究してまいります。

学校教育における学習環境につきましては、昨年度、国のGIGAスクール構想に基づき、市立小・中学校の全児童・生徒に1人1台のタブレット端末と高速大容量の通信ネットワーク等を、当初の計画より前倒しして一体的に整備しました。今年度は、各教科の授業や家庭学習等において、これらの情報機器の整備効果が最大限発揮され、有効な運用が図られるよう、教員等で構成する情報教育推進委員会を中心に、より充実した活用方法の検討や活用事例の情報共有に努めてまいります。あわせて、教員に対する研修を計画的に実施するとともに、各学校において研究授業等を通じた実践的な検討も行

いながら、児童・生徒の資質・能力を一層確実に育成してまいります。

また、児童・生徒が快適に学校生活を送り意欲的に学ぶことができるよう、第六小学校と第七小学校においては大規模改造工事を、第三中学校においては水飲栓直結工事をそれぞれ実施するとともに、小学校7校の屋内運動場に空調設備を設置してまいります。この屋内運動場の空調設備につきましては、今年度をもって市立小・中学校全15校への設置が完了することとなります。あわせて、この間、経年により設備更新を進めてまいりました学校の防犯カメラにつきましても、今年度の中学校5校をもって、市立小・中学校全15校への対応が完了いたします。

社会全体の教育力の向上につきましては、公民館において実施してきた、知的障害のある方が主体的に生きる力を身に付け、地域で仲間づくりをする「くぬぎ教室」が45年目を、幼い子を育てる方を対象にした保育室活動が50年目をそれぞれ迎えます。今後も地域福祉との更なる連携を強化し、歴史のある事業の充実を図ってまいります。

また、図書館においては、サービスの充実を図るため、音訳グループとの共催による音訳講習会を開催し、音訳者の育成を図るとともに、育児中の保護者の図書館利用の機会を提供するため、引き続き保育士による託児を行ってまいります。

○歴史と文化が薫るまち

歴史豊かなまちの形成につきましては、歴史遺産として地域に伝わる様々な有形・無形の文化財を大切に保存・継承し、活用しながら取り組んでまいります。史跡武蔵国分寺跡においては、史跡指定地の公有化の状況や発掘調査の成果などを踏まえながら、『史跡武蔵国分寺跡（僧寺地区）整備実施計画』に基づき、歴史公園の整備を順次進めてまいります。

また、大正11年10月12日に国の史跡指定となった武蔵国分寺は、令和4年度に指定100周年を迎えることから、本市が誇る貴重な文化財を広くPRするための記念行事について検討し、準備を進めてまいります。「ふるさと国分寺」



真姿の池湧水群

の誇る貴重な文化財の指定・保護・活用を通じて、歴史遺産に対する理解を一層深めてまいります。

文化・芸術の振興につきましては、コロナ禍においてもその火を絶やすことなく灯し続けるため、非対面・非接触の「新たな日常」を踏まえた生活様式に対応しながら、より多くの市民が文化・芸術を身近に学び、鑑賞し、体験できるようなイベントを企画するなど、本市の文化・芸術の拠点であるcoco bunjiプラザといずみホールを中心に施策を展開してまいります。

まちの魅力発信につきましては、本市の魅力が市内外へ広範・多角的に発信していくため、地域活性化包括連携協定を締結する総合学院テクノスカレッジとの公民連携により、シティプロモーション動画の制作を行ってまいります。本市は、都市部でありながら美しい自然環境が残り、にぎわいと住みやすさのバランスがとれた魅力的なまちです。また、史跡武蔵国分寺跡等の重要な文化財が残る歴史のまち、日本初のロケット発射実験や新幹線の開発研究が行われた科学のまちであり、多くの誇れる魅力を有しています。市民には、市に対する愛着や誇りをより一層感じてもらうとともに、市外の方へは、本市への関心や興味を持っていただくことで、魅力ある国分寺の定着を目指してまいります。

○すべての人が自分らしく暮らせる平和なまち

ダイバーシティ(*7)推進の取組につきましては、国分寺市男女平等推進条例の基本理念である「性別にかかわらずだれもが、個人として尊重され、多様な生き方が選択できること」を目指し、昨年11月15日に施行した『国分寺市パートナーシップ制度』をはじめとする、多様性を認める地域社会の構築、誰もが活躍できる国分寺の実現に向けた施策を展開してまいります。本制度の周知と多様性への理解促進・意識啓発に取り組むとともに、性自認や性的指向に関する相談に対応するために、LGBTQ(*8)専門相談窓口を開設いたします。

また、市内在住外国人への適切な情報提供の

必要性も高まっています。今年度も国分寺市国際協会と連携し、新型コロナウイルス感染症関連をはじめとした情報の多言語化に努めるとともに、特に、日常生活、学校教育、防災等において市内在住外国人への支援体制を充実させ、全市民が安心して生活できる環境整備を進めてまいります。

恒久平和に向けた取組につきましては、戦後75年の節目に企画した昨年度の平和事業を引き継ぎながら推進してまいります。昨年度は、新型コロナウイルス感染症の拡大により、小・中学生を広島市原爆死没者慰霊式並びに平和祈念式へ派遣するピースメッセンジャーや、その報告の場である平和祈念行事を中止せざるを得ませんでした。そのような状況にあっても、本市の平和祈念式や市民からお借りした戦争関連品の展示などを行ってまいりました。今年度も非核平和宣言都市として、恒久平和に向けた取組を進めてまいります。

○未来へ続く活力あふれるまち

経営を未来へつなげるための事業者への支援につきましては、経営者の高齢化等に伴う後継者問題の課題の把握や解消を支援し、次世代への経営資源の円滑な承継を促進するため、個別相談会等の開催による事業承継支援事業を実施してまいります。

地場産農畜産物の普及促進と農地の保全につきましては、市内農業者が生産する「こくベジ」の更なる消費拡大と認知度向上を目指すとともに、農業経営の拡大、農業者の高齢化等による担い手不足の解消を支援するため、JA等の関係機関と連携して、生産緑地の貸借を進める農業者間のマッチング事業に取り組んでまいります。

昨年度は、新型コロナウイルス感染症の拡大の影響により、東京2020大会が1年延期となりました。今年度は、国や東京都等の動きに合わせて、必要な準備を進めてまいります。東京2020大会を契機として多様な文化に触れ、本市の文化や魅力を伝える機会を創出し、本大会における感動を共有できるよう取り組んでまいります。あわせて、ベトナムを相手国とする共生

社会ホストタウン(*9)として、心のバリアフリーや施設のバリアフリーの浸透に向けた取組を進め、レガシーを継承してまいります。

○いたわり、思いやりが行き届くまち

地域福祉の推進につきましては、誰もが住み慣れた地域で、安心して幸せに暮らし続けられるまちの実現に向けて、地域福祉の総合化や地域とのつながりを重視する観点から、昨年度一体的に策定した『国分寺市地域福祉計画後期実施計画』、『国分寺市成年後見制度利用促進基本計画』、『国分寺市自殺対策計画』及び『国分寺市再犯防止推進計画』に基づき、誰一人取り残すことのない地域づくりを進めてまいります。人と人との触れ合いを大切にし、つながることによって互いにいたわり、思いやりが行き届く地域福祉を推進していくために、これまで取り組んできた国分寺市地域福祉推進協議会における関係機関との協力体制づくりや地域福祉コーディネーターの活動を推進し、地域で支援が必要な人を孤立させることがないように、お互いを気遣い、支え合う人づくり、地域づくりを進め、地域共生社会の実現を目指してまいります。

高齢者支援につきましては、昨年度新たに策定した『高齢者保健福祉計画・第8期介護保険事業計画』の基本理念である「個人としての尊厳が保たれ 地域・社会の支え合いによる 自立した豊かな生活を実現する」を踏まえ、地域包括ケアシステムの推進に向けた取組を更に強化してまいります。

本市においても高齢者の増加が進み、介護を必要とされる方が増え、介護給付費が毎年増加しており、また、国においては介護報酬の引上げが予定されているところです。そうした状況下ではありますが、第8期における基準月額保険料は、介護給付費準備基金を取り崩し、約2億円を保険料に充当することで、基準月額保険料を第7期と同額に据え置くこととしました。今後もこの基金を計画的に活用していくことで、保険料の急激な上昇を抑え、負担軽減を検討してまいります。

あわせて、第8期も市民税非課税世帯に対する保険料の負担軽減を継続するとともに、国が保険料所得段階の区分に用いる基準所得金額を見直したことに伴い、本市もこれに準じ、一部の所得段階で軽減を図ることで、保険料負担の一層の公平化に努めてまいります。

また、更なる利用者負担軽減策として、認知症高齢者グループホームにおいて、低所得者向けに家賃等の利用者負担の軽減を行っている事業者に対して、新たに助成を行う制度を導入いたします。

障害者支援につきましては、昨年度新たに策定した『第4次国分寺市障害者計画』の基本理念である「だれもお互いを尊重し、支え合い、



こくベジプロジェクト

こくベジ
国分寺三百年野菜

語句解説

(*7)ダイバーシティ

多様性のことで、性別や国籍、年齢などに関わりなく、多様な個性が力を発揮し、共存できること

(*8)LGBTQ

レズビアン、ゲイ、バイセクシャル、トランスジェンダー、クエスチョニングの略で、セクシャルマイノリティの代表的な呼び方

(*9)ホストタウン

東京2020大会に参加する国・地域との人的・経済的・文化的な相互交流を通じて、地域活性化等を図る地方公共団体

障害とともに自分らしくいきいきと暮らせるまち」に沿って、すべての市民が障害について理解を一層深め、障害の有無にかかわらず自らの意思で選択した生活を送れるよう、各分野との連携を更に深めるとともに、共生社会の実現に向け、多様な支援ができる体制を市民と共に充実させてまいります。

また、新たな障害者支援の取組として、原則2年ごとに更新が必要となる精神障害者保健福祉手帳の交付を受ける方の診断書料を助成することにより、経済的負担の軽減を図ってまいります。

生活支援につきましては、生活困窮者自立支援法に基づく事業を関係機関と連携して実施するなど、その方の置かれた環境、状況等を踏まえ、必要かつ適切な支援を実施してまいります。また、生活保護制度を必要とする方には、保護を適切に実施し、経済的・社会的自立に向けた支援を行ってまいります。

○快適で暮らしやすく発展するまち

可燃ごみの共同処理につきましては、浅川清流環境組合可燃ごみ処理施設の周辺にお住まいの方をはじめとする日野市民の皆様、関係者の皆様のご理解・ご協力により、昨年4月から本格稼働を迎えることができました。施設周辺の環境負荷を低減するためにも、『国分寺市一般廃棄物処理基本計画』に掲げる「清潔で環境に優しい循環型都市」を目指し、市・市民・事業者が相互に協力し、分別の徹底と更なるごみの減量・資源化に取り組んでまいります。

本市では、自主回収容器設置店への返却を原則としつつ、昨年度からペットボトルの戸別収集を開始し、市民の利便性にも配慮してまいりました。今年度は、可燃ごみ処理施設への搬出量を減らすため、せん定枝や落ち葉などの戸別収集を実施し、堆肥化を行います。市民の皆様におかれましては、引き続き、ごみの減量・資源化と分別の徹底に、ご協力をお願い申し上げます。

(仮称)リサイクルセンターの整備につきましては、本年、国が策定するプラスチック資源循環施策の在り方を踏まえつつ、これと合わせてペットボトルやせん定枝についても処理品目として改めて検討する必要があることから、事業スケジュールを1年延伸して取り組んでまいります。

緑と水の保全につきましては、『国分寺市緑の基本計画』の将来像である「緑と水とともにいきるまちこくぶんじ 国分寺の自然を身近に感じる緑・水を守り、育てる」を目指して、市内に残る貴重な緑である西恋ヶ窪一丁目の樹林地を、特別緑地保全地区(*10)として都市計画決定していくための手続を進めてまいります。



国分寺駅北口駅前広場

また、都市計画緑地としての範囲を拡大した姿見の池緑地につきましては、西恋ヶ窪若松公園部分と、それに隣接する水路との親水化を図る整備内容を検討するとともに、寄附をいただいた西町四丁目の樹林地につきましては、国分寺の緑と水の象徴的な場所となるよう、国分寺崖線(*11)や胎内堀跡(*12)に隣接するなどの地形的特徴を踏まえた上で、整備・活用方針及び整備像の検討を行ってまいります。

市民の意見を伺いながら昨年度に設計した内藤さつき公園につきましては、緑と開放感のある新たな憩いの場として、公園面積を拡大してまいります。

野川につきましては、身近に水と緑に触れ合い、憩えるような水辺環境に配慮した親水空間の形成などの早期実現を目指し、東京都と連携して整備に向けた取組を進めてまいります。

安全で快適な道路・交通環境の整備につきましては、交通の円滑化や快適な都市空間の創出と防災性の向上を図るため、引き続き取組を進めてまいります。国3・4・12号線は、交通開放した国分寺駅北口駅前広場への快適なアクセスを確保するため、早期に開通できるよう、関係権利者との折衝等を丁寧に行い、用地取得を進めてまいります。国3・4・11号線を施行する東京都と連携しながら、今年度から用地取得に着手いたします。

また、市道幹17号線、新幹線通りの一部における無電柱化事業につきましては、防災機能の強化や安全で快適な歩行空間の確保と良好な都市景観の創出を図るため、今年度は電線共同溝の整備に支障となる埋設管の移設工事を行ってまいります。

街灯・照明灯のLED化事業につきましては、

歩行者・自転車の安全確保を図り、夜間の交通事故を未然に防ぐとともに、電気使用量や維持管理費の削減、環境への配慮を目的として、今年度も引き続き取り組んでまいります。

市街地整備につきましては、誰もが便利に移動できる安全・安心な交通まちづくりに向け、快適性や利便性を向上させるとともに、交差点の改良や歩行者の安全確保など、本市が抱える道路・交通についての課題を効率的かつ効果的に解決するために、交通計画の方針の決定や市道整備計画を検討した上で、令和元年度から進めてきた『(仮称)道路・交通網計画』を策定いたします。

都市計画行政につきましては、本市の特徴である良好な住宅都市としての一層の質の向上を図るとともに、安全・安心なまちづくりを進めてまいります。市内の約7割を占める第一種低層住居専用地域のうち、木造住宅の密集化を改善するエリアのまちづくりについて、都市計画手続などを進めてまいります。

国分寺駅北口周辺整備につきましては、昭和40年の都市計画決定から50年以上の歳月を経て完了した国分寺駅北口再開発事業による整備効果を一層高めていくため、国分寺市国分寺駅北口駅前広場条例を制定し、駅前空間を市民等による多様なイベントの開催や新たな憩いの場として活用していくことにより、にぎわいの創出を図ってまいります。また、多様な機能を有する駅前広場の管理につきましては、植栽のせん定や清掃をはじめ、常駐する管理員により放置自転車等の禁止行為を抑制するなど、安全・安心に広場をご利用いただけるよう、包括的な維持管理業務を行ってまいります。

語句解説

(*10)特別緑地保全地区

都市緑地法に基づき、豊かな緑を未来へ継承するために、都市において良好な自然的環境を形成している緑地を指定するもの

(*11)国分寺崖線

立川台地の形成期に多摩川が武蔵野台地を侵食してできた崖で、武蔵村山市残堀付近から始まり、大田区丸子橋付

近まで続いている

(*12)胎内堀跡

玉川上水から武蔵野台地へ引水するための分水路の一つで、水路のルート上に他の分水路と交差する箇所があったため、地中を通るトンネル状の堀として築かれたもの。現在では流水は無く、水路跡の横穴と堀さらい用の縦穴が一部に残っている。

西国分寺駅北口周辺のまちづくりにつきましては、優先的に取り組むべき駅前エリアにおける整備手法のケーススタディを行うなど、魅力的な住宅市街地の形成を目指して、具体的な検討に着手してまいります。また、庁舎移転を見据えて、西国分寺駅東側における利便性の向上や交流の創出に向けた取組を引き続き進めてまいります。

恋ヶ窪駅周辺エリアのまちづくりにつきましては、検討を進めている「恋ヶ窪駅周辺エリアのまちづくりの方向性」を踏まえながら、『国分寺市都市計画マスタープラン』に掲げる土地利用計画の見直しを進め、良好な市街地・住環境の向上などのまちづくりを目指してまいります。

現庁舎用地の利活用につきましては、本市の重要課題の一つである公共施設マネジメント(*13)推進の試金石となるものであり、恋ヶ窪駅周辺エリアのまちづくりにも寄与するものです。今年度は、複合化・多機能化により整備する新たな公共施設の具体像等を内容とする『(仮称)国分寺市現庁舎用地利活用基本計画』の策定に着手し、丁寧に進めてまいります。

○市民の安全・安心を守るまち

コロナ禍における避難所対策につきましては、感染拡大防止の観点から、受入れ可能な人数が大幅に減少するなど、これまでの避難所対策に大きな影響を与え、在宅避難を更に推進する必要があります。このような状況を踏まえ、昨年度に引き続き、地域活性化包括連携協定を締結する日立製作所研究開発グループと共同で在宅避難者支援アプリケーションの実証実験を行い、ICT技術の活用による迅速な救援物資のニーズを把握する方策の検討を進めた上で、在宅避難者支援の強化を行ってまいります。

また、災害発生時において市民が必要とする情報を迅速に届ける手段を拡充するため、コミュニティFM(*14)を活用した情報発信について検討を進めてまいります。

防災力の向上と消防力の強化につきましては、「防災まちづくり推進地区」へ継続的に支援を行い、新たな推進地区の指定に向けて自治会等と協力して取り組むとともに、内藤さつき公園に防災倉庫、マンホールトイレ、防災ベンチ、ソーラー非常用電源付照明灯などを配置し、更なる防災力の向上に取り組んでまいります。あわせて、国分寺市消防団第6分団の消防ポンプ車を更新し、消防力の強化を図ってまいります。

特殊詐欺の被害防止につきましては、有効な被害防止策の一つである、自動通話録音機能を装備した電話機購入費の補助制度を実施してい

るところですが、新型コロナウイルスワクチン接種を装った詐欺が既に発生しているとの報道もあることから、引き続き警戒を強め注意を喚起していくとともに、補助制度の周知を図り、被害件数と被害金額ゼロを目指してまいります。

また、複雑化・多様化する消費者トラブルの未然防止と解決のため、引き続き相談窓口である消費生活相談室の機能強化を図ってまいります。今年度は、多摩地域において先進的な取組となる、消費者安全法に基づく「(仮称)国分寺市消費者安全確保地域協議会」を設置し、地域の関係機関と連携して見守り体制を強化することにより、消費者被害の未然防止・拡大防止につなげてまいります。

バリアフリーの推進につきましては、誰もが支え合い、自分らしく活躍できる地域共生社会の実現に向け、市民や事業者と広く考え方を共有するとともに、面的で一体的なバリアフリー化によって、誰もがいつでも安心して暮らせるまちづくりを進めるため、高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律に基づく『バリアフリー基本構想』を策定いたします。

この基本構想策定に先駆けて、昨年度に完成した国分寺駅北口駅前広場とその周辺においては、識見者や関係団体のご意見を踏まえながら、単独で歩行する視覚障害のある方や弱視の方でも正確な方向に道路を横断することを可能とする方向定位ブロックを設置し、先進的なバリアフリー整備を進めてまいります。

○未来につながる持続可能なまち

新型コロナウイルス感染症の影響により、これまで転入超過が続いていた東京都の人口は、昨年7月から転出超過により減少に転じていますが、本市においては、本年1月1日現在の人口は126,862人と昨年の同時期より約1,700人増加しています。人口増加の背景を捉えながら、未来につながる持続可能なまちを目指してまいります。

公共施設マネジメントの推進につきましては、市民の安全・安心な生活を支える行政サービスの質を維持し、かつ、将来世代に負担を先送りしないことを前提に公共施設を維持・更新していくため、昨年度に取りまとめた、公共施設の維持管理修繕と長寿命化改修の実施に関する統一的な手順等の効果的な運用に向けて、更なる研究に取り組み、公共施設の維持に要する費用の低減に努めてまいります。

新型コロナウイルス感染症の拡大、少子高齢社会の一層の進展と経済の停滞、市民の価値観の多様化など、社会が絶えず変化し続ける時代に対応していくためには、一歩先を見据えて自ら考え、自律的に行動することができる職員を育成する必要があります。研修により必要な知識や能力を習得し、様々な業務を経験することで、高い業務遂行能力を備えるだけでなく、市民と共にまちづくりを進めることのできる職員を育成してまいります。

おわりに

令和3年度を迎えるに当たり、私の市政運営に当たっての基本姿勢を示すとともに、主要施策についての所信を申し上げます。

新型コロナウイルス感染症の拡大により、1年前には誰も想像できなかった状況が現在も続いています。国や東京都による外出制限や営業自粛要請がされる中、本市においても、多くの公共施設の利用制限や、様々なイベントを延期・中止せざるを得ず、市民の皆様にご多大なご不便とご負担をおかけしております。しかし、こうした状況下において、市民の皆様、事業者の皆様のご理解とご協力をいただくことによって、一人ひとりの命を守ることに繋がっていきます。特に、新型コロナウイルスワクチン接種につきましては、現在のところ感染拡大防止策として最も有効な方策と考えております。一日も早い接種ができるよう、最善の努力を尽くしてまいります。引き続き新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、感染防止対策を徹底していただきますよう、よろしくお願い申し上げます。

社会経済活動が大きな制約を受ける中で、その先の未来へと進むために、コロナ禍で浮き彫りになった課題を克服しつつ、将来にわたり持続可能な市政運営を行ってまいります。新型コロナウイルス感染症という未曾有の危機に直面した今、市民の生命と健康と生活を全力で守り抜くことを大命題に掲げ、災害時の拠点として十分な機能を備え、市民の安全・安心の礎となる新庁舎建設事業を成し遂げることも、私の大きな使命と考えます。ポストコロナを見据えて次の一歩を踏み出すべく、私が先頭に立って、全職員と共に、本市の更なる飛躍と発展に最大限の力を尽くしてまいります。

議員各位をはじめ市民の皆様におかれましては、何とぞご理解とご協力を賜りますようお願いを申し上げます、施政方針といたします。

→政策経営課(内404)

語句解説

(*13)公共施設マネジメント

公共施設を単に管理するのではなく、自治体経営の視点から、計画的かつ効率的効果的に維持・更新する手法

(*14)コミュニティFM

市区町村(隣接する他の市区町村の区域を含むことも可)単位で免許を受けたラジオ局